

県内にプロバスケットチームを

多治見市にプロバスケットボール「bjリーグ」の公認アカデミーが六月四日に開校する。県内初のプロチーム発足を目標に選手を育成し、当面はリーグ下部のチャレンジリーグ参加を目指す。アカデミーは県内外の四歳～中学生が対象で有料。週に三日、年齢別に開かれ、リーグのスタッフが指導する。運営は、地元有志十人でつくる一般社団法人「岐阜スポーツアカデミー」が担う。

三十日、多治見市役所で、アカデミーの曾根康正代表理事がリーグの東英樹取締役と会見。曾根代表理事は「地域ぐるみで応援されるチームを目指す。三年



スクールの体験会で練習に取り組む参加者たち＝多治見市市之倉町で

bjリーグ公認アカデミー 多治見に4日開校

後から参戦したい」と抱負を述べた。

アカデミー体験会が三十日まで六日間、多治見市市之倉町の市之倉体育館で開かれ、約六十人が参加。

bjリーグは二〇〇四年に日本初のプロバスケットボールリーグとして発足。二十一チームが所属し、東海地方では「浜松・東三河フェニックス」が参加している。チャレンジリーグは来季からスタートする。

アカデミーは全国で五十校あり、生徒は千百人以上。東海三県では現在、愛知県稲沢市にある。問い合わせは岐阜スポーツアカデミー 電話090(9899)3908へ。(中川耕平)



bjリーグの東英樹取締役からアカデミーの開校通知書を受け取る曾根康正代表理事ら＝多治見市役所で

プロバスケット参戦へ 多治見の企業一丸

母体の新会社設立 スクールも開校も

【多治見】多治見市からプロバスケットボールチームを生み出そうと、地元企業が連携して活動母体となる



「bjアカデミー岐阜多治見校」の開校を発表する曾根代表(左)ら(多治見市役所で)

る会社を立ち上げた。6月にプロバスケット「bjリーグ」公認のスクールを県内で初めて開校する予定。関係者が30日に記者会見し、「まずは3年後をめどに(bjリーグ下部の)チャレンジリーグへの参戦を目指す」と意気込みを語った。

新会社「スポーツクリエーション岐阜」(本社多治見市滝呂町)は地元10社が出資して設立。代表取締役には会計事務所などを手がけるSMCホールディングスの曾根康正社長が就いた。プロバスケットチームの誕生とともに人材育成や地域活性化、雇用の創出を狙っている。

同時に公認スクール「bjアカデミー岐阜多治見校」を運営する一般社団法人岐阜スポーツアカデミー(住所同)を設立しており、6月4日に開校する予定。対象は幼児から中学生までの男女で、1クラス10～20人。市之倉体育館(市之倉

町)を主会場に週2、3回の指導を行う。校舎は近隣都市にも広げる計画で、年内に可見市で開校したい考えだ。